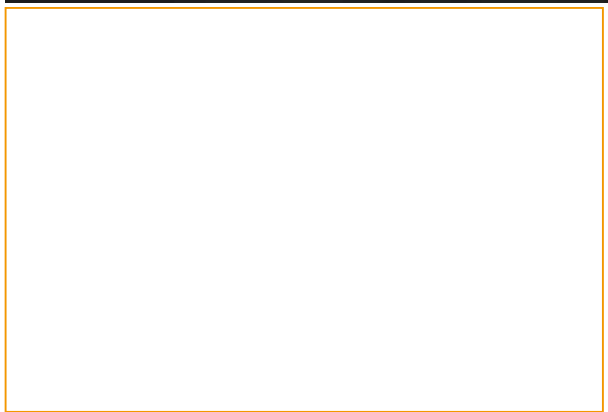


NAPAC トレンド情報 2016

カスタマイズ&アップグレードアイテム



制作 / 2016年5月

監修 / 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 (NAPAC)

NAPAC トренд情報 2016

カスタマイズ & アップグレードアイテム

市販カスタマイズパーツの“旬”な情報を
NAPAC 会員社自らご紹介し、
関連製品ジャンルの傾向を情報提供！

「NAPAC トренд情報」とは…

「NAPAC トренд情報 2016 ～カスタマイズ & アップグレードアイテム」は、国内主要スポーティングパーツ、アルミホイールメーカーで構成する業界団体「日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会（NAPAC）」の会員社自らが、自社の最新アイテムについて解説させて頂く資料集です。

今回ご紹介する最新アイテムは、今シーズンのカーカスタマイズ市場を賑わすであろう注目の“ニューフェイス”ばかりです。

また情報提供会員社が捉えている、その製品の市場傾向についても情報提供致します。デザイン、カラー、仕様の流行や傾向等を感じ取って頂き、カーグッズ販売店各位の売り場作りや来店ユーザー接客の参考にして頂ければ幸いです。

※本資料は NAPAC 会員社に情報提供を募り、協力会員のアイテムのみ掲載しています。
※掲載情報は 2016 年 4 月時点のものです。その後仕様変更等が発生している場合があります。



NAPAC トренд情報 2016

カスタマイズ & アップグレードアイテム

– Contents –

アイテム掲載ジャンルと会員社

- 01_ 足回りパーツ : (株) 阿部商会、(株) ジャオス、
(株) タナベ
- 02_ アルミホイール: エンケイ(株)、オーゼットジャパン(株)、
(株) 5ZIGEN インターナショナル (株)、ジャパン三陽、
(株) TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY、トピー実業 (株)、
橋本コーポレーション (株)、(株) ファブレスジャパン、
フジ・コーポレーション (株)、
ブリヂストンリテールジャパン (株)、
(株) ホットスタッフコーポレーション、
マルカサービス (株)、横浜ゴム(株)、(株) ワーク
- 03_ インテリア : ブリッド (株)
- 04_ エアロパーツ : (株) ドゥオール、(株) トムス
- 05_ エキゾースト : (株) トラスト、藤壺技研工業 (株)
- 06_ エンジンパーツ : (株) 東名パワード
- 07_ 駆動系パーツ: 小倉クラッチ (株)、(株) キャロッセ、
辰巳屋興業 (株)
- 08_ 車体剛性パーツ : (株) キャロッセ
- 09_ ブレーキパーツ : (株) ディクセル
- 10_ ライティング : (株) コラント ヴァレンティ事業部、
(株) デルタ





Maker：(株) 阿部商会

Model：BILSTEIN B14

サスペンションキット

製品解説

トヨタ新型アルファード/ヴェルファイア用 BILSTEIN B14 ネジ式車高調整サスペンションキット（定価 230,000 円、税別）は、40mm 程のローダウンでスタイルアップさせながら、上質でコンフォートな乗り心地を実現しました。

さらにモノチューブ構造のダンパーにより、フロントを倒立ストラットとし、横剛性に優れるしっかりとしたハンドリングで操縦安定性を向上しました。上級で高品質のサスキットです。

関連市場傾向

現在のサスペンション市場はローダウン志向ですが、最近の車の中にはフォグランプ、ウインカー、バックランプ等が低い位置にデザインされているケースが少なくありません。

当社ではこれらの位置を配慮し車検対応範囲内のローダウン値で商品開発を行っています。

また、乗り心地を重視されるユーザーが多くなってきております。ネット等で評判の良いものを吟味して商品選択されているようです。

《 阿部商会 談 》

トレンド情報 2016

足回りパーツ



この写真はイメージです
量産商品とは一部仕様が異なります

Maker : (株) ジャオス

Model : BATTLEZ × DP type VF-R

製品解説

BATTLEZ ダンパー誕生から15年の月日を経て完成した“トップオブ BATTLEZ”

高性能なモノチューブ式に加えてリザーバタンクも装備しているので、激しい環境でも安定したパフォーマンスを発揮します。

同品のプロトタイプを装着したFJクルーザーは、無交換ノントラブルで2015年のアジアクロスカントリーを走破しました。

スムーズな動作による快適な乗り心地と、高い減衰力による確かな操縦安定性を両立しています。

関連市場傾向

サスペンション市場は、以前は4WDのサスペンション交換という「どれだけ車高が上がるか（下がるか）」という点に関心が集まりがちでした。

しかし最近では、「車高変化量はそこそこ（もしくはゼロ）で構わないので、乗り心地の良い、または性能の高いサスペンション」を求める声が増えてきたように感じます。

これは、車両の変化（極端なリフトアップができない、似合わない）と共に、ユーザーの本物志向が高まってきた証ではないかと推測します。

《 ジャオス 談 》

トレンド情報 2016

足回りパーツ



Maker : (株) タナベ

Model : SUSTEC UP210

製品解説

–最新のリフトアップフォルムを手軽に、コンフォータブルにロールックスはもちろん降雪路等での走破性も向上するリフトアップ。UP210 は、注目のこのカスタムをスプリング交換だけで実践できるサステックの最新プロダクトです。

NF210 ゆずりの快適な乗り心地と、車高が上がることでロールセンターと車体重心点が近づくことから、ロールが減少し、コーナリングがスムーズになる効果もあります。

関連市場傾向

近年、SUV 車が成長を続けており各メーカーから多彩なモデルが発売されるようになり、既存モデルをリフトアップさせたクロスオーバーモデルを追加するなどの動きも多く見受けられKカー、コンパクト、ワゴンなどラインナップも充実してきました。

本格的なオフロード走行を楽しむ他にオシャレに街中を走るクルマとしても人気で、足回りパーツについても、車高を上げるスタイルにも注目が高まってきている傾向があります。

《 タナベ 談 》

トレンド情報 2016

足回りパーツ



Maker : **エンケイ (株)**

Model : **GTC01 RR**

関連市場傾向

アルミホイール市場の昨今のトレンドであるコンケイブ（中下がり）デザインをさらに迫力あるスタイリングを実現するために、GTC01RR では、3タイプのコケイブを用意し、装着車両毎に最適な形状も実現致しました。

《 エンケイ 談 》

製品解説

究極のストリートホイールを目指して開発されたモデル。

そのコンセプトは超高剛性+超軽量。

2006年発売のGTC01から継承する高剛性コンセプトはそのままに、CAE解析技術の向上、さらにはスポーク側面サイドカット加工の採用により超高剛性を維持しながら、GTC01を超える径重量を実現したモデルです。

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker：オーゼットジャパン（株）

Model：Anniversary45

製品解説

2016年、オーゼットは創立45周年を迎え、これまでの歴史と文化を刻み込んだ記念モデルが誕生しました。その名は「アニバーサリー・フォーティーファイブ」。

初代モデルを現代風にリメイクし、当時話題を集めた7つのホールデザインを再現した、モダンレトロ作品です。

センターのオーナメントには、初代ブランドマークを復刻しています。

関連市場傾向

アルミホイールのジャンルでは、特にハイエンドの車種でコンケーブデザインの大口径モデルに注目度が高まっています。

昨今、自動車メーカーがこぞってSUVを発売していることが、大きく影響しているものと思われます。

《オーゼットジャパン 談》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker : 5ZIGEN インターナショナル (株)

Model : J × 4R

関連市場傾向

アルミホイール市場は、個性を求めるユーザーの要望に応えるため、複雑なデザインのモデルが増えてきていますが、逆にこだわりすぎて個性が出にくくなっている気がします。

ユーザーが求めているのは、もっとシンプルな部分でのこだわりであると考えています。

《 5ZIGEN インターナショナル 談 》

製品解説

ジムニー専用ホイール「J×4」(ジェイバイフォーアール)シリーズ第2弾モデルは、リバーSlimを採用し立体感のあるデザインと相まってスポーツイメージを強調したフォルムと致しました。

また力強い10本スポークでありながら、応力を分散させる設計により、軽量化にも成功致しました。

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker：(株) ジャパン三陽

Model：ワーウィック ヴェルネ
タイプ レナ

関連市場傾向

アルミホイールはここ数年、カラークリアやマットカラー等の特殊カラーモデルが非常に多く出回っており、つい最近まで主流だったブラックポリッシュ系ホイールから様変わりしてきているのが感じられます。

今後の傾向としては、アンダーカットデザインや特殊ピアスデザイン、ミーリング加工等、特徴を付け加えた商品も増えてくるのではないかと感じられます。

まだまだブラックポリッシュの占める割合は多いですが、ここに来て少しずつ変化が出てきているのではないのでしょうか。《 ジャパン三陽 談 》

製品解説

8本スポークは4ホール、10本スポーク(写真左)は5ホールデザインの専用設計。

センターからリムエンドまで伸びるツインスポークにエッジをきかせたアクセントがエレガンスさを醸し出しています。

デザイン表面のブルーブラッククリア色や、クラシカルピアスボルトを施すことで、より高級感を演出しています。

センターから放射状に伸びるツインスポークが愛車の足元を引き立てます。

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker : (株) TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY

Model : TWS Reizend WS05

製品解説

シンプルで無駄を削ぎ落としたスタイリッシュなデザインをテーマに、細身のスポークデザインを基調とした5本ツインスポークホイールです。

溶接2ピースホイールであるが故に、サイズ表範囲内で1mm単位でのインセットオーダーに加え、パーソナルメニューも合わせるとディスク3種類、カラー5色、センターキャップカラー22色の組み合わせが可能な、オリジナリティー性の高い製品です。

関連市場傾向

アルミホイールのデザインは5本ツインスポークが主流になってきています。見た目では軽量がアピール出来る細身スポークであればなお良いでしょう。

また最近の車両はビッグキャリパーで、純正サイズでもフェンダークリアランスが厳しく、コンケイブデザインを採用しにくいのですが、コンケイブを求める声はまだまだあると思います。

《 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY 談 》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker：トピー実業（株）

Model：ドルフレン フィニート

製品解説

1 ピースでありながら破格の立体感を演出する 3D フェイス。

直線基調の V 字ツインスポークを軸にサブスポークを添えたダブルフェイスデザインで、メインとサブのスポークに高低差を施したアレンジも加えられています。

リムにはアンダーカットを採用。ミラーポリッシュとして存在感を際立たせ、同時にスポークはコンケーブ形状として印象を深めました。

ブラックメタリックの色味にもこだわり、ハイクラス感満点に仕上げました。

関連市場傾向

ラグジュアリーワゴンやビッグセダン系には、3D コンケーブ形状のアルミホイールがマッチします。

またミラーポリッシュとしたアンダーカットは 3D 形状に陰影を加え、よりハイクラス感を高める仕様だと思います。

《 トピー実業 談 》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker : (株) 橋本コーポレーション

Model : Z-Performance ZP.08

製品解説

2016 年より日本で本格始動した Z-Performance。

新たな価値を創造すべく生まれたこのブランドは、新進気鋭のスタイリッシュホイールとしてヨーロッパを中心に抜群の人気を誇っています。中でも今回ご紹介する“ZP.08”は、シンプルで繊細なデザイン設計により、一級のエレガントさを感じさせる仕上がりになっています。

18/19/20inch 4color
¥ 67,000 (税別) ~

関連市場傾向

アルミホイール市場はスポーツ車、セダン、SUV、ミニバン、軽、輸入車等各ジャンル別に、それぞれのトレンドがあると思われます。

その中で共通することは、デザインにおいては、コンケイブはいまだ人気だと思われます。

また、カラーはポリッシュ系等が人気だと思われます。

《 橋本コーポレーション 談 》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker : (株) ファブレスジャパン

Model : BARONE MC-6

製品解説

BARONE シリーズ第 4 作目は、シンプルなフラットディスクデザイン、色の付いたセンターボア、スポークとリムを見切ったラインが特徴です。

また、BARONE シリーズ初となるセンターオーナメントに「BARONE」のブランド名を刻みました。

サイズは 16 インチ～ 18 インチ、カラーはブルーブラックポリッシュ。

関連市場傾向

アルミホイール市場では、15 インチ～ 18 インチのバン用車検対応タイヤが登場したことにより、アルミホイールの装着率が増加してきています。

《 ファブレスジャパン 談 》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker：レアマイスター

Model：ティニャネロ

製品解説

「ティニャネロ」は普遍の人気を誇るメッシュデザインにフィンデザインの要素を加え、さらに最新のトレンドを幾重にも織り込みました。

アンダーカットを施すことでディスクの立体感とスポークの存在感をより強調しています。

カラーは全4色でいずれも注目度の高いカラーを採用、アクセントとなるセンターキャップは新デザインの立体造形で気品あふれる意匠になっています。

関連市場傾向

アルミホイールのデザインはメッシュ×フィンやスポーク×ディッシュのような複合系 1P が増加しました。

また立体感を強調する傾向があり製法から細部への意匠など多岐にわたり各メーカーの様々なこだわりがあります。

カラーに関してはカラークリア系が浸透しており、原色系クリアも下地にブラッシュド加工をすることで上品に纏める傾向があります。

そのため、今後もユーザーから要望の多い内容を製品に反映していく必要があると考えています。

《 フジ・コーポレーション 談 》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker：ブリヂストンリテールジャパン（株）

Model：ECO FORME CRS161

製品解説

「ECO FORME CRS161」は、省資源の追求や環境負荷軽減といった環境対応アルミホイールとしての基本性能を満たした上で、ダブルフェイスデザインに改良を加え、より立体感のあるデザインを実現しました。

高級品に採用されるアンダーカット技術も継承しよりこだわりの高い、より上質なデザインを持つ環境対応アルミホイールです。

関連市場傾向

アルミホイール市場の中で「環境対応アルミホイール」は一つのジャンルを築いています。

さまざまなエコカーに対応するサイズ展開を図っていること、形状や素材選定に気を配った無駄のない効率設計を施していること、そして環境負荷となる物質を削減した省資源化に取り組んでいることが、環境に気を配るユーザーに支持されているからだと思います。

その裾野は輸入車ユーザーやハイクラスデザインを求めるユーザーにも広がりを見せてきています。
《ブリヂストンリテールジャパン 談》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker：(株) ホットスタッフコーポレーション

Model：トラフィックスター
ジークロス モノブロック

製品解説

躍動感ある 5 本スポークデザインを採用し、筋肉質でしなやかな曲線が繊細な印象を与え、反射する光が豊かな表情を見せます。

大口径の重量軽減に特化しフローフォーミング製法を採用。リムの高剛性、軽量化を図りました。

アンダーカット部のレーザー彫刻によって繊細に施された「Trafficstar」のロゴが上品な印象を与えます。またゆるやかなコンケイブラインと、立体的なスポークがこだわりを象徴しています。

関連市場傾向

近年のホイール市場では「軽量」というキーワードが販売店やユーザーの間で、ホイールを選ぶ上での重要な要素となっています。

フローフォーミング製法の普及により鍛造商品には及ばないものの、剛性に優れ、デザインにおいても鋳造ならではの柔軟なデザインと、価格的な魅力が市場で注目を集めています。

一方で、ファミリー層やライトカスタムを楽しむユーザーの動向としては、ハイブリッドや低燃費志向の流れが強く現れていると思います。

《ホットスタッフコーポレーション 談》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker：マルカサービス（株）

Model：VERTEC VR-5 GP-LINE

製品解説

当社の代表的なブランドのひとつである「VERTEC（ヴァーテック）」より、2016年春にリリースした「ヴァーテック・ブイアルファイブ・ジープーライン」は、5×2スポークを重ね合わせ、立体感を演出したダブルフェイスデザインを採用しました。

メインスポーク天面はダイヤモンドカット加工を施し、ブルーとブラックを繊細に配合したカラークリアをペイント。上質感を生み出しました。

関連市場傾向

アルミホイール市場は、これまでの通常切削品に“もうひと手間”を加えた商品が各社より多数市場投入されてきています。

そのうちのひとつが“切削加工 + カラークリア仕様”です。トップクリアに色を配合することで、ローコストで容易に変化を加えることができます。

《マルカサービス談》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker：横浜ゴム（株）

Model：ADVAN Racing RS II

製品解説

コペンや S660 等、軽自動車におけるコンパクトスポーツモデルの登場に伴い、従来 17～19 インチのサイズ設定であった ADVAN Racing RS II に 15、16 インチサイズを新たに追加設定しました。

スポーク面のサイドガット加工やフランジ最外周部のダイヤモンド切削加工等はそのままに 5J、5.5J といった幅の狭いサイズでも、デザインが平面的にならないようにスポークコンケイブを可能な限り追求しました。

関連市場傾向

アルミホイール市場は、コペンや S660 等のコンパクトスポーツの登場に伴い、サイズラインナップが充実してきています。

それに伴い、コンパクトスポーツモデル以外の軽自動車を含むコンパクトカーにも装着可能なサイズが拡大し、小径サイズの需要が以前よりも増加傾向にあると見ています。

《 横浜ゴム 談 》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker : (株) ワーク

Model : URBANZONE FERVORE

製品解説

都会的な (URBAN) と地帯 (ZONE) の造語から生まれたコンセプトは、「都会を走る CITY CRUSER の足元に相応しいセンスフルホイール」。

サイズバリエーションは 20 インチ ~ 22 インチを設定し、大型ミニバンや SUV をメインターゲットにしました。

カラー設定は新色トランスグレースラックメタルと、グリミットシルバーの 2 色。

大口径コンケイブフィンデザインは、より大きく見える上にダブルデザインを採用し、シャープさを強調しました。

関連市場傾向

アルミホイール市場は昨今、より繊細な部分への付加価値を付ける加工技術やカラーリングをデザインに反映させています。

一見、シンプルに見える中にも、こだわりのポイントがあり、マニシング加工や特殊カラーはその代表格にあたります。

その他、大型ミニバンと大型 SUV のニーズは上昇傾向にあります。

《ワーク談》

トレンド情報 2016

アルミホイール



Maker：ブリッド（株）

Model：BRIDE ZETA III type-S
VERIA（ヴェリア）

製品解説

最も多くのドライバーから選ばれているフルバケットシートスタンダードモデル、ジータⅢシリーズ。

その中でも身長の高いドライバーに対応したコンパクトモデル、ジータⅢ・タイプSを、よりアクティブな女性ドライバーのためにチューニングした限定モデルが、ジータⅢ・タイプS・ヴェリアです。

細身体型に対応するため、脇から腿にかけてのウレタンを特別仕様にし、ステッチと刺繍は、限定カラーのピンクを採用しました。

関連市場傾向

女性たちのモータースポーツへの参加を目指す「ウイメン イン モータースポーツ」をキーワードにして、モータースポーツ界においては女性の活躍が期待されています。

女性ドライバーが増えることによって、今後ますます、女性の体型や姿勢に特化した、女性のためのスポーツシートの需要が高まると考えています。

《ブリッド談》

トレンド情報 2016

インテリア



Maker：(株) ドゥオール

Model：ワンタッチスポイラー

製品解説

「ワンタッチスポイラー」はフロントバンパーの左右に取り付けるだけで、フロントマスクを一新することが出来る商品です。

純正色塗装済品を用意していることと、取り付けが簡単なことが大きなウリです。

また昨今、送料が高額となる中で本品は左右のパーツなので送料も安価で送ることが出来ます。

日本製にこだわり製造、塗装作業を日本で行っています。

簡単にイメージチェンジしたいユーザーにおすすめの商品です。

関連市場傾向

エアロパーツ市場において、フルバンパーは高額商品と海外製の粗い安価な商品の2極化だと思えます。また車種が違うのに同じデザインのエアロも多いです。

当社では、その車種に合ったデザインにすべく車種毎にデザインを変えています。今後はこれがスタンダードになるのではと考えています。

その他、商品に付帯する経費（送料）のことも考えており、時代の変化に対応していく考えです。

《ドゥオール 談》

トレンド情報 2016

エアロパーツ



Maker：(株) トムス

Model：新型プリウス用エアロパーツ /
スタイリングパーツ

関連市場傾向

新型プリウスのエアロパーツについては、圧倒的なユーザー数だけに多彩なスタイルのニーズがあります。

また、標準状態で空力を重視した形状のため、他車種よりも理論的な空力も重視するユーザーが多い傾向となっています。

《 トムス 談 》

製品解説

新型プリウスに二種類のエアロパーツをラインナップ。

ノーマルのボディラインに違和感なくフィットしスポーティさを高める「スポーツタイプ」と、レーシングエアロダイナミクスを継承した形状の「レーシングタイプ」(写真左)の二種類を設定。

いずれもレーシングテクノロジーをバックボーンとしながら、選択肢を広げ、多様なユーザーニーズに対応致します。

トレンド情報 2016

エアロパーツ



Maker：(株) トラスト

Model：パワーエクストリーム R マグナム
JB23W ジムニー

製品解説

パワーエクストリーム R マグナム JB23W ジムニーは、ジムニー用としてはあまり前例のないセンター出しレイアウトとしました。

テールにも 102φ という太いテールを使用し、強いインパクトを与えました。ドレスアップ効果は大きいですが、出力向上も重視しており、メインパイプ 50φ、サイレンサー内部も完全ストレートとして、ノーマルからブーストアップまで対応出来る容量を確保しています。

関連市場傾向

数年前までスポーツマフラー（エキゾースト）市場は性能重視とドレスアップ重視の 2 つに分かれていた感じですが、近年性能重視のスポーツマフラーにも、見た目のドレスアップ性が求められるようになりました。

出力が向上するのはもちろんのことですが、さらにプラスアルファとして特徴的なレイアウト、テールの焼き色、ロゴ入り化粧プレートを装着したスポーツマフラーに注目が集まっているように思われます。

《 トラスト 談 》

トレンド情報 2016

エキゾースト



Maker：藤壺技研工業（株）

Model：RIVID（リヴィッド）

関連市場傾向

最近のマフラー市場ではミニバンや軽カーは純正マフラーが見えないものも多く、ファッション性に乏しいように感じます。

そこでマフラーをアピール出来るように、左右出しやオーバル形状のテールエンドの商品が好まれています。また、テールエンドに青く焼色を付けたものも人気です。

スポーツ系では、音色や音量にこだわりを持っているユーザーは多く、商品はより分散化されています。

《 藤壺技研工業 談 》

製品解説

「RIVID」は、事前認証取得（車検対応）品ながら、ストレート構造の小型砲弾タイプのサイレンサー採用しました。さらにアウターカール（R4）のφ90テールエンドにBG発色加工、サイレンサーボディからテールエンドまでヘアライン加工を施しました。

砲弾サイレンサーでは落ち気味になる中低速のトルクを確保し、スポーツマフラーならではの心地良い高回転域までのレスポンスを実現。軽量化にも特化したスポーツコンパクトモデルです。

トレンド情報 2016

エキゾースト



Maker : (株) 東名パワード
Model : ARMS RB25DET M8265
タービンキット

製品解説

純正タービンでは不足している高回転域の出力特性を大きく上回りつつも、RB25 エンジンの特性を活かしたターボキットです。

ストリートやドリフト走行に抜群のパフォーマンスを発揮します。また既存の ARMS シリーズと同様、タービン取り付けに必要なガスケットやショートパーツ一式を全て付属しています。

ガスケットなど純正部品等の手配は一切必要なく、製品が届いたら直ぐに取り付けが可能です。

関連市場傾向

昨今、スポーツカーの復活がにわかに騒がれていますが、新車のエンジンチューニングに関しては、エンジンの制御方式も難しくなっていることもあり、エンジン内部はそのままでもルトオンターボやスーパーチャージャーキットといったパッケージでのチューニングが浸透しつつあります。

一方、20 年前の車をベースに従来のエンジンチューニングを楽しむユーザーも根強く残っています。《 東名パワード 談 》

トレンド情報 2016

エンジンパーツ



Maker：小倉クラッチ（株）

Model：強化クラッチ（ロードスター用）

関連市場傾向

強化クラッチについて「乗りやすく」という需要が多い中、一部のサーキットユーザーからは「より軽く」という超えも大きくなってきています。

これは通勤など、普段の生活で使用している車両でスポーツ走行を行うユーザーの他に、普段乗らないサーキット走行専用の車両を所有するユーザーが増えてきていることが影響しているものと考えられます。

《 小倉クラッチ 談 》

製品解説

当社の 2016 年新製品は新型 ND ロードスター用の強化クラッチです。

ND ロードスターは、エントリーユーザーからサーキット専用車両まで幅広い使用が想定されます。

そのため、当社では運転の楽しさを意識した Light クラッチ、街乗りからサーキットまで、オールマイティな使用を目的とした Metal クラッチ、サーキット走行に特化した Racing Concept と 3 つのシリーズで展開します。

トレンド情報 2016

駆動系パーツ



Maker：(株) キャロッセ

Model：LSD (ロードスター用)

製品解説

走る楽しさを追求したライトウエイト FR スポーツ「ロードスター」のスポーツ性能をさらに向上させるアイテムが LSD (リミテッドスリップデフ) です。

圧倒的なトラクション性能と、車両をコントロールする楽しさが味わえます。

競技用、ドリフト用から街乗りオートマ用まで多彩なラインナップ。コーナーリング時や低ミュー路での片側駆動輪の空転を防ぎ確実に車を前に押し出します。

関連市場傾向

LSD のセットアップについてのトレンドとしては、最近のサーキットセットアップではサスペンション性能向上、タイヤのグリップ性能が向上したことから、必要以上に LSD の効きを上げないセットアップが好まれます。

《 キャロッセ 談 》

トレンド情報 2016

駆動系パーツ



Maker：辰巳屋興業（株）

Model：RG パワークラッチ

製品解説

扱い易さとスポーツ性能を兼ね備えた RG パワークラッチの「スーパーディスクシリーズ」に新ラインナップとしてトヨタ 86 用をリリースしました。

スーパーディスクシリーズは、低温時から高温時まで安定した摩擦性能を発揮し、ストリートからサーキットまであらゆる使用環境での使用が可能です。

関連市場傾向

駆動系パーツ市場におけるクラッチジャンルは、多板式の強化クラッチと比較して手ごろな価格で性能アップを図れるシングルタイプの強化クラッチが主流となっています。

スポーツ走行時の摩擦性能のアップはもちろん、街乗りでの扱い易さも重視するユーザーは多いです。

《 辰巳屋興業 談 》

トレンド情報 2016

駆動系パーツ



Maker : (株) キャロッセ
Model : パワーブレース
(アルトワークス用)

関連市場傾向

車体剛性パーツ市場は、以前はロールバーでボディー剛性を上げるユーザーが多かったと思いますが、近年では、室内加工、ボディー穴あけ加工等をしたくないユーザーが多く、ボルトオンで装着可能なパーツが好まれています。

《 キャロッセ 談 》

製品解説

パワフルでスポーティーなアルトワークスにボディー剛性パーツ「パワーブレース」を装着することで、さらに軽快な走りを実現します。

アルトのボディー剛性を解析し最適な場所に補強材を追加。最低地上高に影響しない設計形状を採用しています。

また、取り付けは簡単装着可能なボルトオン設計としました。

トレンド情報 2016

車体剛性パーツ



Maker : (株) ディクセル

Model : ES (EXTRA Speed) タイプ

製品解説

Zタイプの弟分として、これまででは日本車用のみでリリースしていた ES タイプに「輸入車用」が仲間入り。

ハイウェイ、ワインディングでのスポーツドライビングで発揮するワンランク上の制動力と耐熱性を有します。

通常のストリートでの使用に限り、2万 km の摩耗保障付き（条件あり）。適正温度は 0 ~ 600℃。対象ステージはストリート ~ ワインディング。税抜定価はフロント ¥12,000 ~ / リヤ ¥10,000 ~。

関連市場傾向

ブレーキパッド市場は、サーキット走行を前提としたハードユースと、ストリートや一般車検交換用のタイプに大別されますが、その中間層も存在します。

ノーマルでは物足りない、でも価格はなるべく抑えたいというユーザーニーズです。その傾向は日本車ユーザーのみならず、輸入車ユーザーでも多く見られるようになりました。若い頃に日本車でチューニングをしていた層が輸入車にシフト、チューニングを楽しんでいると思われます。

《 ディクセル 談 》

トレンド情報 2016

ブレーキパーツ



Maker：(株) コラント ヴァレンティ事業部

Model：ジュエル LED テールランプ
REVO

関連市場傾向

テールランプジャンルは最近、流れるウインカーを採用したアイテムが注目を浴びています。法改正により、自動車メーカーの一部上級グレードに純正採用され、テールランプに多機能、デザイン、ファッション性を求める向きが強まっている現れの一つと思われま

す。重要保安部品となるため、アフターメーカーのノウハウが必要不可欠です。

またヘッドフォグランプジャンルは最近、LEDを採用したアイテムが注目を浴びています。一部の自動車、バイクで純正採用され、省エネ化を求める向きが強まっています。《コラント談》

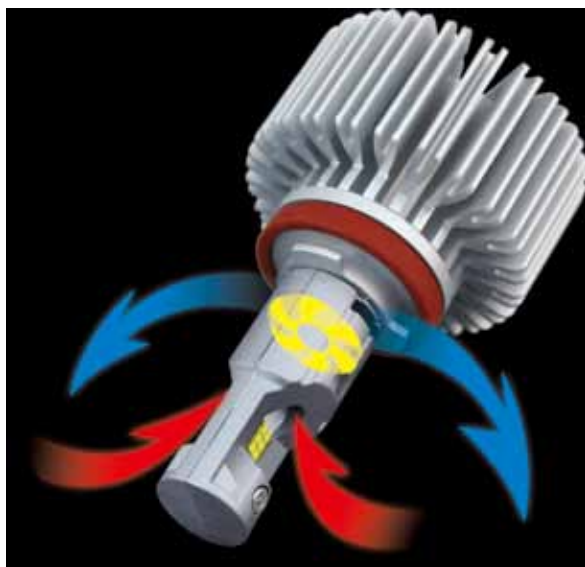
製品解説

ヴァレンティオリジナルデザインのフルLEDテールランプ。“REVO”シリーズとは(REVOLUTION)の略。革命的なという意味で以前のシリーズよりハイパフォーマンスな位置付けとなり、今後新車種もリリース予定です。

一部車種では、法改正により日本国内でも保安基準適合となった流れるウインカー「フローアクションウインカー」を採用。またLEDライトバーによるスモールランプ点灯が幻想的なリアビューを演出し、後続車の目を釘付けにします。ウインカーハイフラッシュ制御抵抗をテール本体に内蔵。Eマーク取得済み。保安基準適合製品。

トレンド情報 2016

ライティング



Maker：(株) デルタ

Model：エボルヴァ LED ヘッドライト

製品解説

LED に照射性能を求めるには、同時に効率良く冷却を行う必要があります。

「エボルヴァ LED ヘッドライト」は、LED 素子の後方部に小型ファンを配置し、高温となる LED 素子を直接冷却し高光束・高レスポンス・長寿命を実現しました。ハイブリッド車、アイドルストップ車、EV にも対応します。

関連市場傾向

ライティング市場に向けて、LED チップの技術とクーリング技術の向上により、さらに照射性能を高めたアップグレードモデルを市場投入する予定です。

また取り付けも考慮したコンパクト化にも着手しております。

《デルタ談》

トレンド情報 2016

ライティング

アフターマーケット業界 認知推進活動



8月2日「オートパーツの日」は、安全走行に寄与する消耗パーツの
定期点検・交換を促進するとともに、カスタマイズパーツ &
アップグレードパーツへの交換を提案する記念日です。
お盆帰省前に愛車の消耗パーツを点検・交換して、安全快適なドライブを楽しみましょう。



8月2日「オートパーツの日」は、オートアフターマーケットの振興をはかる日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 (NAPAC) が新たに制定しました。